

米沢興譲館高校SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール

SSH推進委員会 代表挨拶

夢と志をカタチに

校長 曾根伸之

SSHⅣ期は2年目を迎え、一人ひとりの夢の具現化に向け、ますますブラッシュアップしていきます。

Ⅳ期では、「デザイン思考」や「論理思考フレームワーク」を踏まえたFS(異分野融合サイエンス)、データ分析の実践力を鍛えるDS(データサイエンス)など、社会課題を「自分ごと」としてとらえるための実践的な思考力の育成に向けたカリキュラムを導入しています。考えることや表現することの楽しさを体験していきましょう。

高校時代の探究活動と社会との協働と共創は、もう一つの大切なテーマです。各高等教育機関や研究機関、地域の企業等関係機関の皆さまの御支援をいただくことで見えてくる新たな課題や研究のプロセスは、生徒諸君にとって高校時代にこそ手にすることができる宝物です。そして、国内外の高校生の仲間たち、地域の皆さま、小中学校の児童生徒の皆さんへの発信と協働の場の拡がりの中で体験する、新しい出会いと更なる豊かな問いを大切にしていきたいと思います。

夢と志をカタチに。 Let's enjoy探究 !!



スーパーサイエンスリサーチ (SSR) 徒弟制を実施して

4/19、4/26、5/10と3回にわたり、SSR徒弟制を実施しました。1、2回目は「問い立てワーク」を各コースごとに2・3年生合同で行い、3回目は3年生がテーマ設定の経緯、手法、考察など探究を振り返って上手いことや課題を2年生に伝えました。3年生はSSRを振り返りながら2年生に自らの取り組みを伝えることでキャリア意識の涵養を図り、2年生はSSRに対する具体的な方策を学ぶことで、今後の動機付けを図りました。

【2学年生徒感想】

- ・第1回、第2回では問い立てワークを行い、1つのテーマからさまざまな問いを立てられるのだと考えさせられました。オープン・クローズクエスチョンの区別、言い換え、問いの繋がりなど様々な視点から考えることで思考の幅がとても広くなると実感できた回でした。第3回では、具体的なアドバイスをいただき、自分たちのしたいことや興味のあることをやるのが1番だと改めて感じました。徒弟制を通じて先輩方から多くのことを学べてよかったです。
- ・今後の探究活動のイメージをもつことができ、いよいよSSRが始まるんだと実感できる良いきっかけになりました。今回お聞きした話をもとによりよい研究につなげていきたいです。
- ・先輩方の実際に行った研究の良かった点と反省点を具体的にお聞きすることができたので、自分たちの探究活動に直接結びつけられる活動でした。話し合いながら計画をしっかり立てて良い活動にしていきたいです。
- ・SSRでのテーマの決定や研究の進め方について先輩方から教わり、より具体的なイメージを持つことができた。計画的に進めることを意識したいと思った。



194

山形県立米沢興譲館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel.0238-38-4741 (代表)

